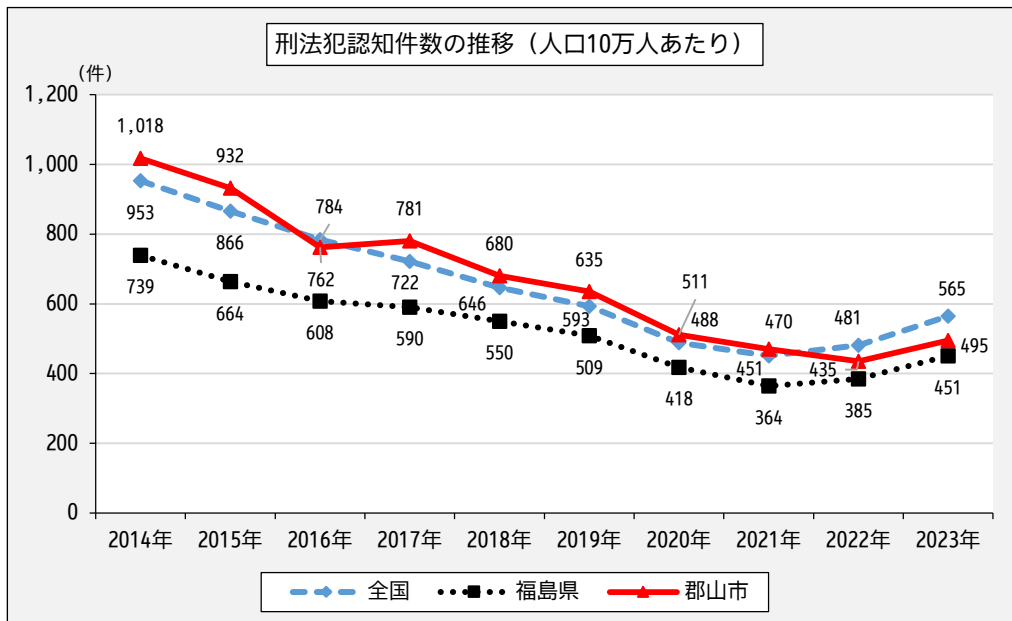


分野5 防犯

(1) 刑法犯認知件数の推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2014年以降減少していたが、2023年は増加した。

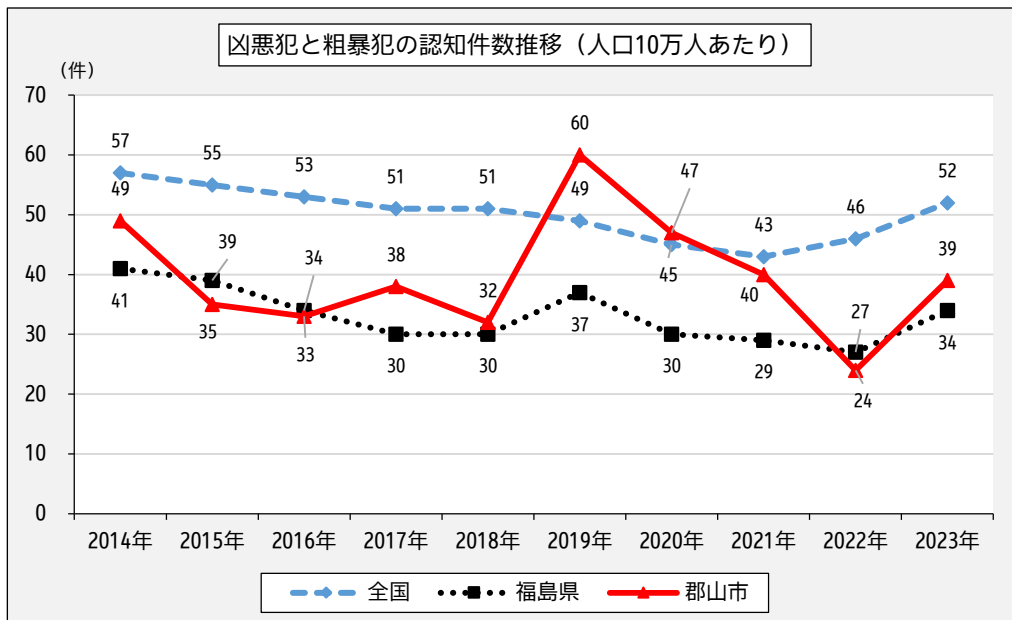


(備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「地域安全白書」（郡山警察署・郡山北警察署）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

(2) 凶悪及び粗暴犯認知件数合計の推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2019年に全国及び県を上回り、その後減少したが、2023年は増加した。



(備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「地域安全白書」（郡山警察署・郡山北警察署）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

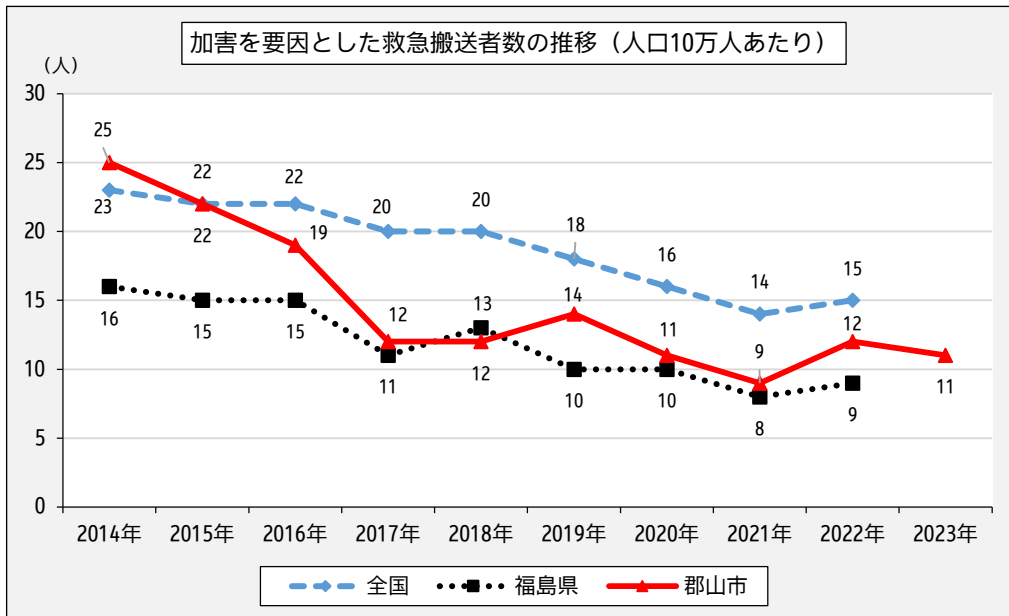
3 「警察白書」（警視庁）より引用

- ・凶悪犯…殺人、強盗、放火及び不同意性交等をいう。
- ・粗暴犯…暴行、傷害、脅迫、恐喝及び凶器準備集合をいう。

分野5 防犯

(3) 加害を要因とした救急搬送推移（人口10万人あたり）

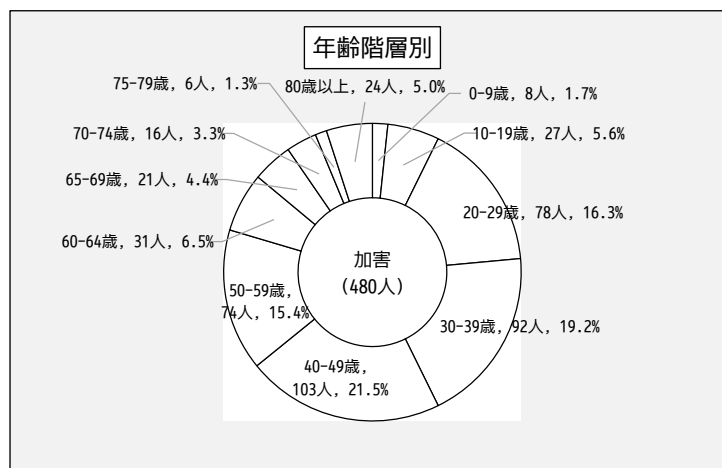
郡山市は増減を繰り返しているものの、2014年と比較すると減少している。2022年は増加し、全国よりも少ないが県を上回っている。



(備考) 1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成
2 算出に用いた人口はP.5の表1による

(4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成（郡山市）（2014～2023年累計）

「40-49歳」が21.5%で一番多く、次いで「30-39歳」が19.2%、「20-29歳」が16.3%となっている。

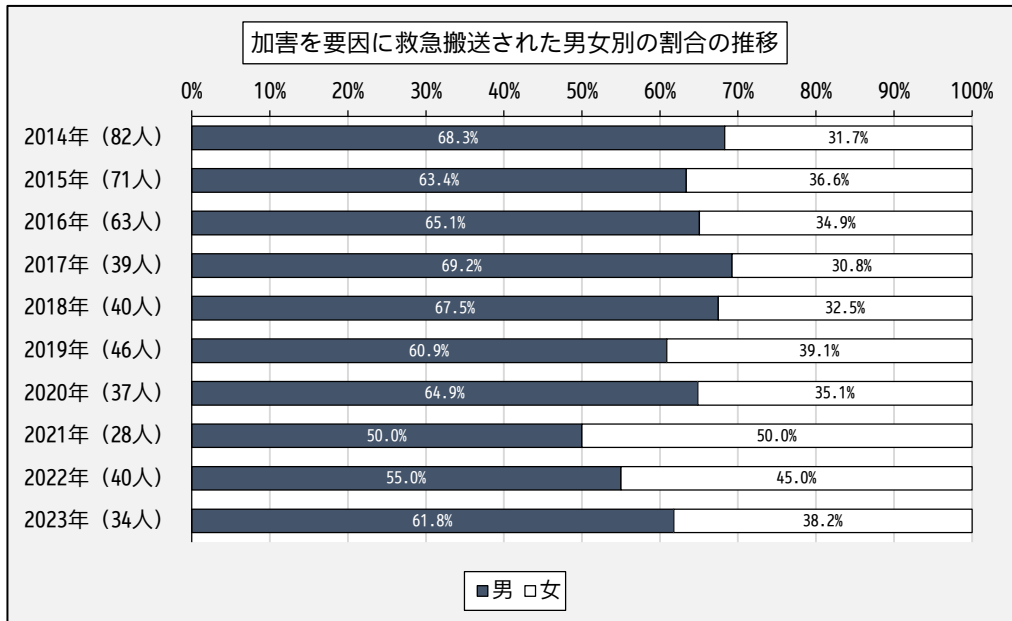


(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野5 防犯

(5) 加害を要因とした救急搬送の男女別構成（郡山市）

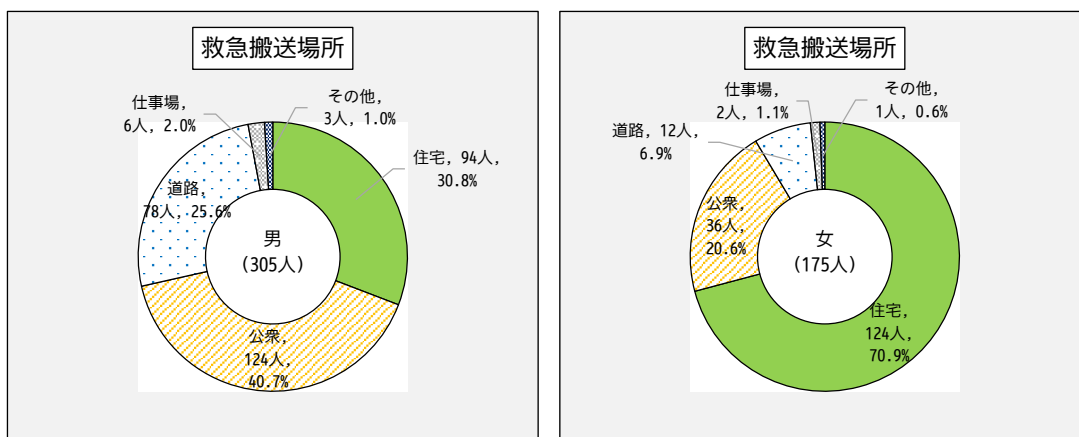
各年で男性の割合が大きい。2023年は男性の割合が6割以上を占めている。



(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所（郡山市）（2014～2023年累計）

男性は、「公衆」が40.7%で一番多く、次いで「住宅」が30.8%、「道路」が25.6%となっている。女性は、「住宅」が70.9%で一番多く、次いで「公衆」が20.6%、「道路」が6.9%となっている。



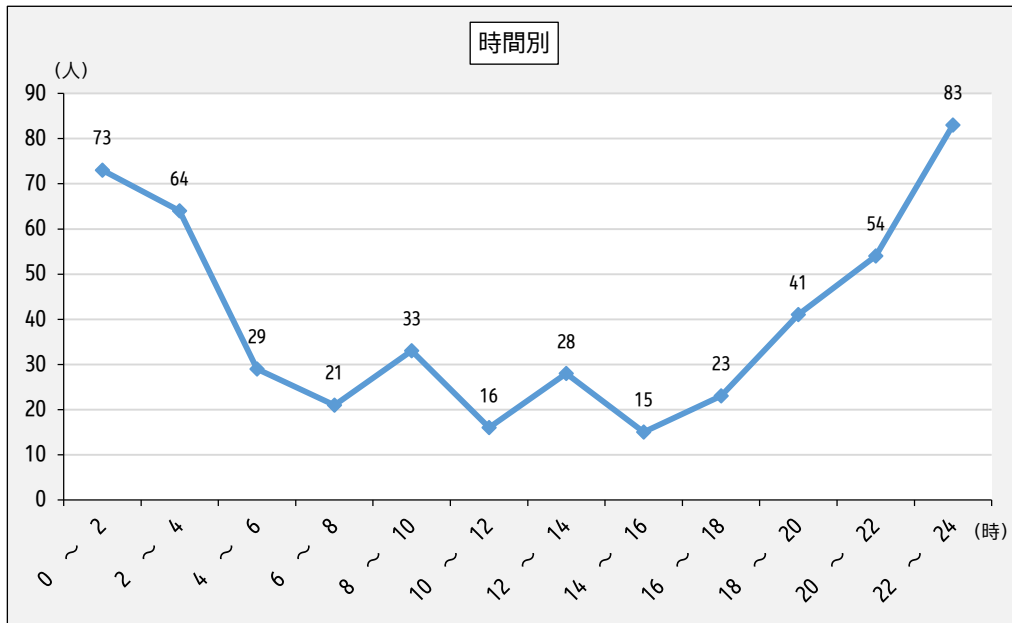
(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野5 防犯

(7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市) (2014~2023年累計)

ア 時間別

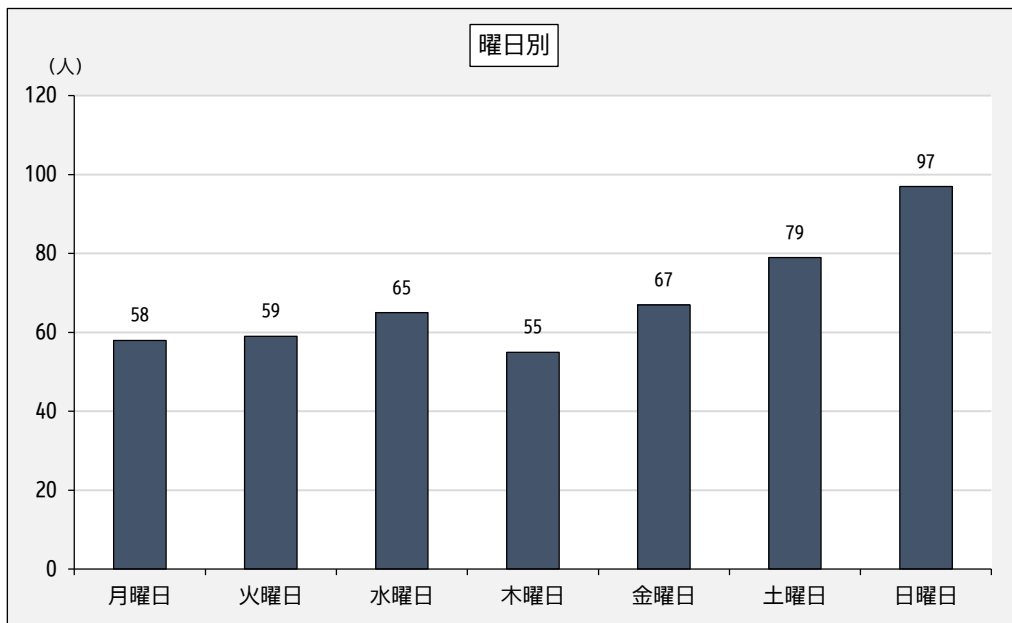
「22~24時台」が83人で一番多く、次いで「0~2時台」が73人、「2~4時台」が64人となっている。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

イ 曜日別

「日曜日」が97人で一番多く、次いで「土曜日」が79人、「金曜日」が67人となっている。

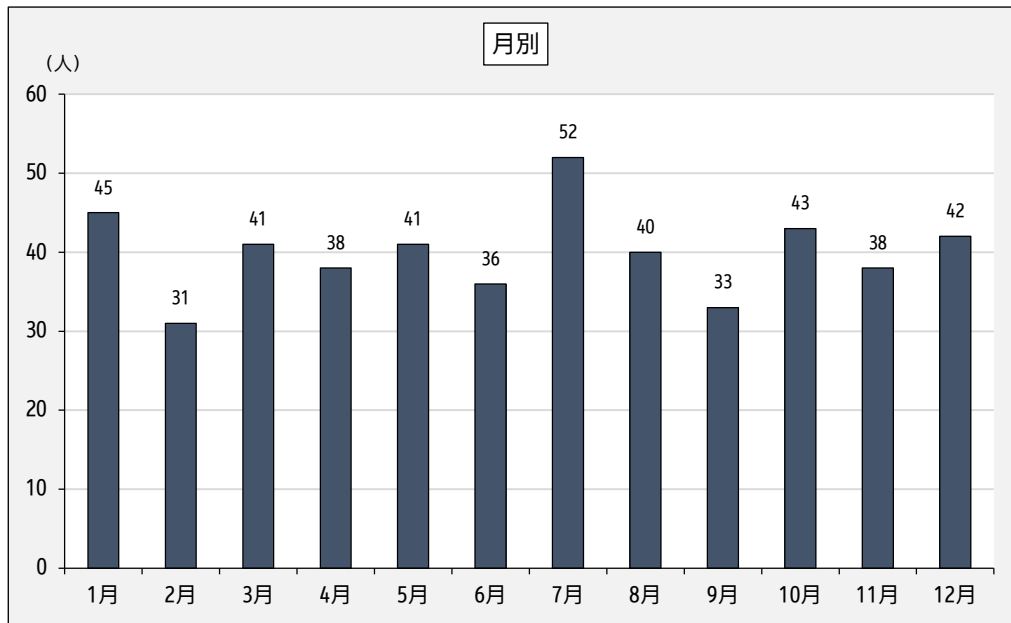


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野5 防犯

ウ 月別

「7月」が52人で一番多く、次いで「1月」が45人、「10月」が43人となっている。

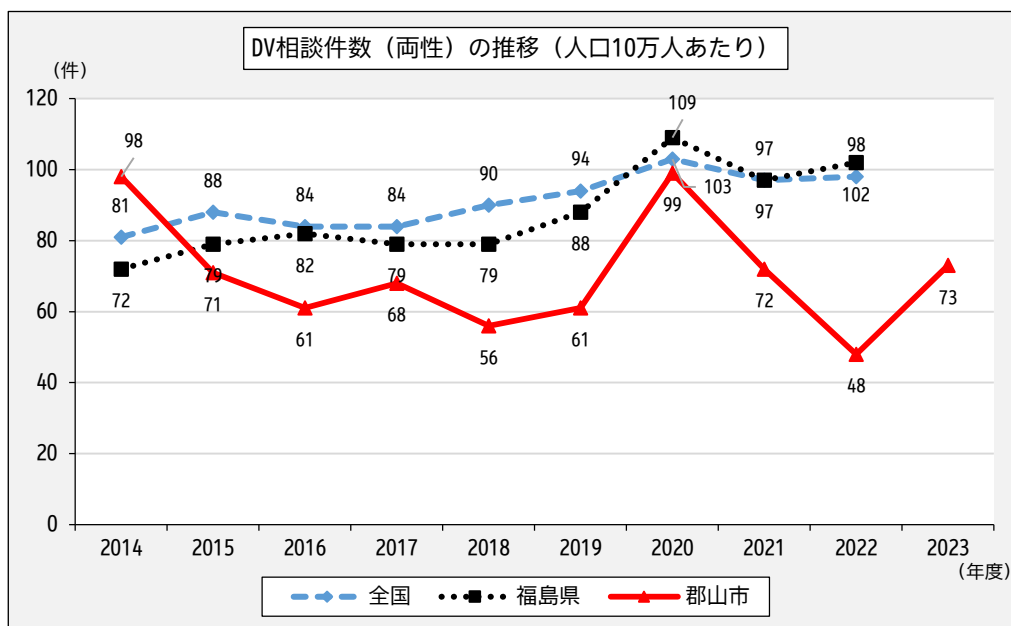


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(8) 配偶者によるDV(ドメスティックバイオレンス)相談件数の推移(郡山市) (人口10万人あたり)

郡山市は、2020年度に増加した。

2014年度に全国及び県を上回ったが、それ以外の年は下回っている。



(備考) 1 「配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等」(男女共同参画局)、
「相談等の取扱件数推移(相談延べ件数)」(郡山市こども家庭課)を加工して作成

2 算出に用いた人口はP.5の表1による